

## 2008年度第4回番組審議会議事録

1. 開催日時 2008年10月8日(水)17時~18時

2. 開催場所 弊社会議室

3. 委員の出席

3-1. 委員総数 8名

3-2. 出席委員 7名 木辻清子・萩尾利雄・正岡健二・高木邦子・山本幸男・為岡務・中嶋知之

3-3. 欠席委員 1名 平川愛恵.

補: 放送事業者側出席者 金千秋・平野由美子

4. 議事

4-1. 番組審議

第4回審議番組 「現役関学生がつくったメディアの実践番組 ~神戸・ながた~」

その 「頑張ろう日本の学生!! ~Be Active~」

9月23日(火) 13:00~13:20 放送

担当 : 越久敬人(プロデューサー) 津田麻理奈(インタビュアー)  
金森武(ミキサー)

ゲスト: サシャ・クリンガーさん(ベルリン自由大学からのインターン)

提供 : 関西学院大学山中速人研究室

毎週火曜日 12:00~13:30 放送「まちはイキイキきらめきタイム」の中のコーナー。  
関西学院大学総合政策学部メディア情報学科の「メディアの実践」の授業を経て、FMわ  
いわいが学生たちに市民メディアを使って情報発信する場を提供し、彼らが実際に番組を  
作り放送したもの。

8月5日~9月23日までの火曜日の計8回、「まちの鉄人」をテーマにして制作した番組  
の最終回。

5. 議事の概要

5-1. 番組の基本コンセプトの説明後、審議を行う。

6. 審議内容

6-1. 欠席者の審議紹介

【平川愛恵委員】

- ・ 各人の声の大小の差が大きい箇所が多々あった。
- ・ お互いの台詞が用意されているのが良いのか悪いのか…。アドリブも上手くこなす「メディアの実践」の授業修得が見えたら良かった。
- ・ 日本語の上級者であるサシャさんではあるが聴者が聞き取れないところもあったので、その補足説明をお互いの感想を述べ合うシーンで復唱しながら聴者に伝えるという技術があっても良かった。
- ・ 現役大学生の元気さがあまり見えなかった。

6-2. 出席者の審議

【木辻清子委員長】

- ・ やはり声の大きさが気になった。非常に聞き取り難かった。
- ・ 女性の方の喋りが自分には馴染まない話し方だった。
- ・ インタビューの内容はよく分かったし興味が持てた。

【高木邦子委員】

- ・ サシャさんは普段はもっと日本語が流暢である。彼の話の内容は良かった。

【為岡務委員】

- ・ マイクのボリュームが三人三様でその大きさが気になって聞き難かった。
- ・ 内容そのものには関心が持てなかった。

【正岡健二委員】

- ・ 番組としての構成力、ストーリー性の練り込みが必要。
- ・ インタビューの内容はよく分かった。しかし、もっと踏み込んで聞く、自分たちと比較する、何か具体例を挙げて話を展開させていくという広がり欲しい。
- ・ 三人の意見として話しているつもりだろうが飽くまで自分たちの会話に終始している。リスナーへの問いかけがない。
- ・ 一人称（おれ）、二人称（お前）の言い方が私には馴染まない。
- ・ 自分の感想など短いコメントは原稿を見ながら会話しても意味がない。
- ・ ラジオとテレビの違いを認識した構成と話し方を考える必要がある。

【萩尾利雄委員】

- ・ 気になったのは、音の大小の差、マイクに入ってはいけない音と言葉遣い。
- ・ いわゆる「タメ口」は校内放送を聞いているようで、図らずも自分たちのレベルを曝してしまったと言える。
- ・ ドイツのオープンチャンネルの話はとても印象付けられた。あのレベルの学生がどう咀嚼したのかと疑問に思う。
- ・ 一番最後のコメントを聞いてがっかりした。
- ・ 公共の電波に乗せるのは厳しい番組。技術的なものから中身まで。何を作りたいのか？何を伝えたいのか？
- ・ リスナーは音でその場がどんな雰囲気なのかが分かる。

【山本幸男委員】

- ・ 皆さんと一緒にマイクのボリュームが一番気になった。
- ・ 間に音楽が欲しかった。喋りっぱなしで疲れた。

【中嶋知之委員】

- ・ 喋りは何とか流れていたという感じ。
- ・ タイトル「Be Active」に対する結論が欲しかったし、またインタビューした話をどう結論付けるのかということもなかったように思う。
- ・ “日本の大学生”と一括りにして話を展開していたが、必ずしもその意見に賛成できるものではなかった。

【放送事業者側出席者：金千秋】

- ・ 彼等は2年生ですが、今年度前期に先ず「市民メディアとは？」というところから講義を始めました。

- ・ トークとインタビューの違い、何をインタビューするのかという課程。
- ・ 編集作業が大変だったようです。お話の面白い上手な方々にインタビューしているので、番組の時間を考慮せず不用意に何時間も収録して来ていたようです。
- ・ 収録に際してはどのグループも台詞原稿を書いてきていました。マイクの向こうにいるリスナーに語りかける時“これを言いたい”ということがあれば何も見なくても言えると思うのですが、現実的に 19~20 歳の学生たちにそれほど伝える中身があるとはあまり思えないという印象でした。
- ・ 番組を作る、企画、構成、取材、収録、編集等一連の作業を経験しその労力を実感したようです。
- ・ 今回はグループでの作業でしたが、次は一人一人での番組作りの段階になりますので今回の審議を大いに参考にさせていただきたいと思っています。

#### 7. 審議機関の答申または改善意見に対してとった措置

- ・ 担当スタッフへの連絡

#### 8. 審議内容の公表について

##### 8-1. 公表内容 議事の内容

##### 8-2. 公表方法

8-2-1. 自社放送 2008 年 11 月 1 日 16:50~17:00 放送

8-2-2. 議事録の設置

8-2-3. ホームページに掲載

以上